

第170回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 平成23年7月7日(木) 11:00~12:00

2 開催場所 宇都宮グランドホテル会議室

3 委員の出席 委員総数 7人  
出席委員数 6人

(1) 出席委員の氏名 早川 富美子(委員長)  
片山 貴之(副委員長)  
青木 敬信  
古磯 勝子  
片岡 真理  
森内 律子

(2) 欠席委員の氏名 島田 恭子

(3) 放送事業者側出席者 神野 俊彦(代表取締役社長)  
佐藤 望(放送部部长)  
古寺 雄史(放送部主任)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換  
(2) その他  
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

6月28日に放送した「ほっとHOTもおか」について、試聴と意見交換を行った。

事業者 この番組は、真岡市が、国の雇用対策「緊急雇用基金再生事業」を使い、市のブランドイメージ向上をはかるため提供しているもので、4月から毎週火曜日の午後3時から55分間の生放送をおこなっています。この番組の制作にあたって、新規に3名の契約社員を採用し、真岡市内の注目スポットや、活躍している市民などの情報を中心に構成し、真岡市のキャッチコピー「誰もがホッと出来る街」というイメージに沿った番組を放送しています。

## 【 番組の試聴 】

委員：パーソナリティの声には、安定感があり、また、リポーターは、明るく元気なフレッシュな印象で、2人とも、とても好感がもてた。また、番組全体を通して、明るく楽しいこの番組の雰囲気が伝わってきた。

委員：リポーターの高賀茂さんは、アクセントなどに一部、不安定さもあったが、レポート相手からの情報の引き出し方に工夫があり、とてもわかりやすいレポートだった。リスナーが実際にレポート先に行ってみたくするような情報の伝え方が出来ていた。

事業者：これまで数々の番組を担当してきた経験のあるパーソナリティと、新人のリポーターを起用した。話し手として、キャリアも声質も全く異なる2人だが、互いの持ち味のよさを活かしつつ、協力しあって、番組で、きちんと役割をこなしている。

委員：各コーナーで取り上げた内容には、いずれも真岡の明るい未来を感じられる表現があり、番組全体の明るく楽しい雰囲気も相まって、好印象を持った。真岡にあまり行ったことがない人も行ってみたいくなる内容だった。

委員：「ほっとHOTもおか」というタイトルがよい。また、各コーナーの合間で流れる、街の人がほっと出来る瞬間について語るジングルが、とても効果的で、聴いている側も、なんだか、ほっと出来た。

委員：紹介した内容に沿った選曲が絶妙で、番組の随所に演出面できめ細かい配慮が感じられた。

委員：地元で活動するミュージカルを取り上げた「真岡HOTモーメント」のコーナーは、ネタのチョイスもよく、ミュージカル体験も、聴いていて、楽しさが伝わってきた。ただ、2週にわたった放送の後編ということもあり、若干、取材先から臨場感を感じにくく、その場の情景説明に物足りなさを感じた。

委員：取材先での録音状態が、あまりよくなく、一部、内容が聞き取りにくい箇所があった。

委員：自治体提供の番組ではあるが、コマーシャルっぽくない作りが好印象。これまで試聴した他のふるさと雇用と比べても、内容が充実しており、とても聴き心地のよい番組だと感じた。

委員：これまで、真岡には暗いイメージがあったが、番組を聴いて、真岡の頑張りや  
明るい兆しを感じられ、真岡への興味が沸いた。  
番組は、真岡の魅力をアピール出来ており、地域番組として、成功していると感じた。  
出し惜しみなく、今後も、番組からいろいろな情報を楽しく発信してほしいと思った。

事業者：提供者である真岡市からは、番組スタッフの自主的なアイデアを中心に、  
制作してほしいとの要望がある。スタッフのチームワークもよく、  
結果、内容のよい番組作りが出来ていると考える。

(以上)

(2) その他  
なし

(3) 次回開催日程について  
次回の開催を9月8日(木)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日  
なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日  
(1) 放送 7月31日(日)午後9時55分の「レディオベリーインフォメーション」内  
(2) 書面 本社事務所に備え置き  
(3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項  
なし